

熊野三山奥の院

玉置之巨杉

おお

第十四号

すぎ



発行 玉置神社
令和7年9月1日

電話 0746-64-0500

FAX 0746-64-0429

〒647-1582

奈良県吉野郡

十津川村玉置川1

祭典のご案内

「出雲大社教玉置教会秋季祖霊祭」 九月初分の日

「玉置神社例祭」 十月二十四日 「年越大祓・除夜祭」 十二月三十一日

「歳旦祭」 一月一日

「初午祭」 三月九日

「玉置神社の令和六年度の

現況等について」

皆様、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

令和七年も、早、半年以上が過ぎました。

世界に目を向けますと人間として許されないような出来事が続いておりますが、このことはさておきまして、今回は、玉置神社の令和六年度の現況等を申し述べたいと思います。

令和二年に立ち上げました「令和の大改修」は多少遅れ気味ではございますが、すこぶる順調に進んでおります。今年の三月には神輿殿の大改修も終わり、特に大きな問題も無く順調に推移しております。



令和7年2月時
神輿殿

ただびつくりしますことは、令和六年度の玉置神社への参拝者は、約二万人の増となりました。

令和七年の四月及び五月の参拝者も六年より増えている状況でございます。皆様、増えている理由は何だと思えますか？

昨年の夏頃に県立十津川高等学校の生徒達が、十津川村を活性化するためのため玉置神社境内において色々なアンケートを実施してくれました。そのアンケートの中で、玉置神社を知ったきっかけは何ですかという項目があるのですが、皆様は一体何だと思えますか？

私は当然インターネットがInstagramだと思っていたのですが、まったく違いました。

圧倒的に多かったのは、知人・友人の紹介でございました。知人・友人の紹介で玉置神社を知り、インターネット等を見て玉置神社を参拝する人が多かったのだと推察されました。

また、玉置神社への参拝訪問回数アンケートでは、約半数の人が二回以上、そして二十回、六十三回、百五十回以上、また、ほぼ毎月という人もいました。玉置神社に魅了され、何回も

参拝する熱狂的な信者も多くいるということも分かりました。

また、どちらから来ましたかというアンケートでは、北海道から九州までほぼ日本中から参拝に来てくれました。

このアンケートから得られる教訓としまして、人からの紹介(人づて)が非常に大切だということでございます。人・知人の紹介により玉置神社を参拝する人が多いのです。玉置神社の印象が悪ければ、これほど多くの人々が、この人里離れた山の中の神社に参りには来てくれません。我々玉置神社で奉仕する人は、日々、誠心誠意、真心を以って参拝者様に対応することが最も大切なことだという教訓でございました。

神職は、神様と人間の中執持として、清き、明き、正しき、直き真心を持ちて神に奉仕しなければなりません。この教えは我々の日々の生活の教訓でもあり、玉置神社に参拝する人たちへの職員としての対応の教えでもございます。玉置の神職及び職員はこの教えを実践し、一点の曇りもなく、大神様そして参拝者等にご奉仕するのが義務であり、かつ責務でもござ

います。

本当に玉置神社は凄いい神社でございます。私も玉置神社にご奉仕させていただきます。私から早十四年目になりますが、益々この凄さを感じております。「パワースポット」という言葉では表現出来ない荘厳な雰囲気をもっている神社でございます。

今や、この十津川村だけでなく日本国の財産・宝でございます。我々玉置神社職員・責任役員等は、全身全霊、玉置神社を守り、後世に引き継いで行かなければなりません。それが我々に与えられた責務だと思っております。皆様、何卒、今後とも玉置神社のこ

とよろしくお願い致します。最後になりましたが、皆様の今後の益々のご活躍・ご健勝を心よりお祈り致します。

宮司 舩谷 武



「初午祭」

三月二日(日)

摂社「三柱神社」の初午祭は、毎年三月の第一午(うま)の日に斎行されます。

御祭神の倉稻魂神(うかのみたまのかみ)、天御柱神(あめのみはしらのかみ)、国御柱神(くにのみはしらのかみ)は、多くの人々の参拝に、微笑んでおられたのではないでしょう

か。古くより玉置のお稻荷さんとして親しまれ、また、玉置山の地主神とも言われる当社は、商売繁盛、厄除け、病氣平癒等に靈驗あらたかな神社です。熱心な参拝者の皆様は、厳肅な面持ちで、静かに手を合わせ、心新たに祈願と感謝の念をお祈り申し上げておられました。



「神輿殿竣工奉告祭」

三月二十四日(月)

この度、十津川村指定文化財『神輿殿』の改修工事完了を受け、弥生



の本社月次祭斎行後に、「神輿殿竣工奉告祭」を執り行いました。数日前に積雪があり、路面凍結があるなど、前日まで真冬の気温に包まれましたが、この日は、十五度という五月並の天候に恵まれました。

改修工事関係各社のご代表や崇敬者のご参列をいただき、神職及び責任役員により、まず御本殿で竣工奉告祭を執り行い、場所を神輿殿前の齋庭に移し、清祓式を斎行しました。

北側斜面の工事等、社殿の基礎部分もしっかり補強され、力強く生まれ変わった神輿殿は、その存在感と共にどっしりとした神々しさを感ぜさせてくれています。社内に安置された御神輿が安堵しているようにも見えました。

なお、北側斜面には、崩落防止のために石楠花が植樹されたことも申し添えます。



「玉石社例祭」

五月十三日(火)

新緑の中に石楠花が咲き誇り、真つ青な空に囲まれた境内で、玉石社の例祭が執り行われました。

玉石社は、境内の東側にあり、毎朝一番に日光が差し込む所に位置します。玉置山頂より数十m降りた斜面に鎮座します。

この玉石社には、神武天皇(初代)や役小角(えんのおづぬ)、空海(弘法大師)の錚々たる方々の謂れが伝承されています。玉置(たまき)神社の名称の起こりとしても伝説として語り継がれている社です。



例祭には、崇敬者十数名参列され、斎行される神事に静かに手を合わされました。二千年の時を超え、自然崇拜の歴史に思いを寄せながら、祈りを捧げるお姿に、玉石社の御神徳が、より一層の強化がなされたと感じました。

「出雲大社教玉置教会」

《屋根の応急改修始まる》

五月十九日(月)

ゴールデンウィークが明けて、参拝者数も落ち着いてきた頃、出雲大社教玉置教会の屋根の修理が開始されました。

これは、数年後の本格的改修工事に向け、その時まで雨漏り等を防ぐ繋ぎの修理工事です。

神輿殿等の修繕作業を進めてくれている株式会社「和昇」(桜井市)によるもので、梅雨入りが迫る中、限られた天気を見据えながら土・日返上で行われました。

六月九日(月)に梅雨入りし、すぐに大雨に見舞われましたが、計画的に進められた作業により、その影響を受けずに一段落終えることができました。重機等が入らない境内で見事!と想えるチームワーク豊かな作業風景でした。



「夏越大祓」

六月三十日(月)

人々は、日々の生活を送る中で、心身のケガレや、罪や過ちを犯してしまします。この国には、有難いことにこのような穢れを祓い清める神事があります。

この六月三十日は、一年の半期であることから、半年間の穢れを祓う「夏越大祓」が全国の神社で行われます。玉置神社では、午後三時より斉行され、約八十名の方が参列されました。

「祓」は伊弉諾尊(いざなぎのみこと)が、黄泉の国で受けた穢れを祓うため禊祓(みそぎはらえ)をした故事から伺うことができます。日本人が大切にしてきた神事と言えます。

罪、ケガレを祓い、次の半年間を健康で平穏に過ごせるよう願う儀式。常日頃から、世のため人のために願うことから、家族の幸せ、ひいては世界の平和は護られていくのではないのでしょうか。



県文化財保存課

「ごほれ話」

からはふ
唐破風の兎毛通(うのけどおし)



唐破風の中央に付く飾りを兎毛通(うのけどおし)と呼びます。兎毛通は、通常、表裏を同じ模様で彫刻しますが、見えにくい場所なので、後世になると裏面を省略してしまうこともあります。

社務所の兎毛通も、表には菊の花を立体的に彫り出す一方、裏は平らになっています。ただ、そのままだと寂しいと思ったのでしょうか、裏面の左右から中央にかけて流水紋を彫っています。表裏で意匠が変わるのは珍しいですが、これで「菊に水」という伝統的な組合せとなっています。

神社のご案内

特集

「御本殿」凝視

現在の御本殿は、江戸時代の末期に建造され、その後修繕を施され現在に至っております。総檜(けやき)造ですが、改修時に檜等の材が一部使用されているのが現状です。

さて、御本殿ですが、よくご覧頂きますと、「あれはなんだろう?」という施し等がございます。

今回の特集では「かえるまた」に注目いたします。

裏股(かえるまた)は、梁や柱の間に置かれ、構造を支えるために築かれます。その一方で、装飾として用いられ、カエルが股を広げたような形をした建築部材です。腐食等があり、覗き取れる範囲で特集します。

表、外陣(格子戸より内側)・回廊上部の裏股

①中央間→【桐花に鳳凰】

豪華な冠羽、鋸歯状の尾羽を持つことから鳳凰(ほうおう)と思われる。左側には桐花と蕾があり、葉ではなく桐花を施し、華やかなデザインとなっています。

【人々に幸福と繁栄をもたらすと言われます】



②向かって右間→【菊に山鵲】

一重の冠羽の痕跡と、二本の長い尾羽から山鵲(さんじやく)と思われる。左側に菊花が添えられています。



【鳴き声が「勝ち勝ち」と聞こえることから、縁起の良い鳥として知られています】

③向かって左間→【長春に金鶏】

冠羽が一重で、尾羽が長く放射状に開いているので金鶏(きんけい)と思われる。金鶏は飼育すると火災を避けるとも言われ、当神社の謂われとの関連を感じさせてくれます。また、長春という薔薇の花が施されています。

【庚申薔薇(こうしんばら)とも言われ、四季を通じて花を咲かせることから不老長寿の意味があります】



式、向拝(格子戸より外側)の裏股

①中央間→【波・雲に龍】

二本の角、鬚、鉤爪(かぎづめ)を持つ典型的な龍と、下部に波、左上方の爪付に雲を施しています。



②向かって左間→【虎と竹】

彩色がないので豹と区別しづらいところがありますが、中央間の龍と一組で龍虎となると思われます。



③向かって右間→【牡丹に唐獅子】

体毛が巻き毛で獅子鼻を持つ、一般的な唐獅子(からしし)と思われ。小さく見えますが獅子の右側後方に、三つに分かれた牡丹の葉、左側に球状の牡丹の蕾が伺えます。



【牡丹は「百花の王」、唐獅子は「百獣の王」という目出度い組み合わせです】

このように装飾等においても、皆様によろしい福が参りますようお願いが込められています。



改修工事進捗状況

☆重要文化財 社務所及び台所

修理現場より

県文化財保存事務所発行文書から

素屋根が完成しました

三月末に、修理工事のための仮設足場である素屋根(すやね)が完成しました。この素屋根は、社務所および台所の建物全体を覆うため、幅二十六・八m×奥行四十mにもなります。これはテニスコート約四方面に相当する面積です。また、傾斜地に建てられているため、地面からの高さは最大で二十四・五mにもなります。

上部には天候に左右されずに作業を進められるよう、全面に屋根を設けています。また、暗い時間帯でも作業が可能となるよう、内部には照明設備も設置されています。

今はかなり広く感じられるのですが、実際に解体した部材を保管できるスペースはかなり限られています。というのも、今後石垣の修理や発掘調査が予定されており、それに伴って内部の足場を将来的に解体する必要があります。解体する部材の量を精査しながら、効率的に格納できる場所を検討していく予定です。

いままでは下から見上げるばかりでしたが、素屋根が完成し、屋根面を間近で見ることができるようになったことで、また新鮮な印象を受けました。

九月下旬には、実際に素屋根の中に入っ

ていただける現場見学会を開催する予定です。ぜひご参加ください！



〔内部の様子〕



社務所側の様子です。傾斜地に建っていますので、北側は二層、南側は四層になっています。各層間で部材を移動できるように、登り橋(スロープ)を設けるとともに、天井に電動チェーンブロックを吊っています。台所側の様子です。表面の足場は屋根や小屋組を解体するためのものです。

〔最近の工事・調査〕

屋根の実測を行っています

完成した素屋根の中では、屋根の実測作業を進めています。「実測」と聞くと、ただそのまま測るだけの簡単な作業のように思われるかもしれませんが、実際には意外と難しさがああります。というのも、現在の建物の姿は、大きく傾いていたり、後の修理で手が加えられていたりして、元々の形とは異なっているからです。

数年後の組み立ての時には、柱の傾きを直し、軒先のラインを整えて、できるだけ本来の姿に近づける必要があります。そのためには、現状を丁寧に観察しながら、当時の大工さんがどのような寸法を意図していたのか、どんな姿にしたかったのかを探っていくことが求められます。つまり、ただ測るだけではなく、その数値の背景にある意味を読み取ることが大切なのです。

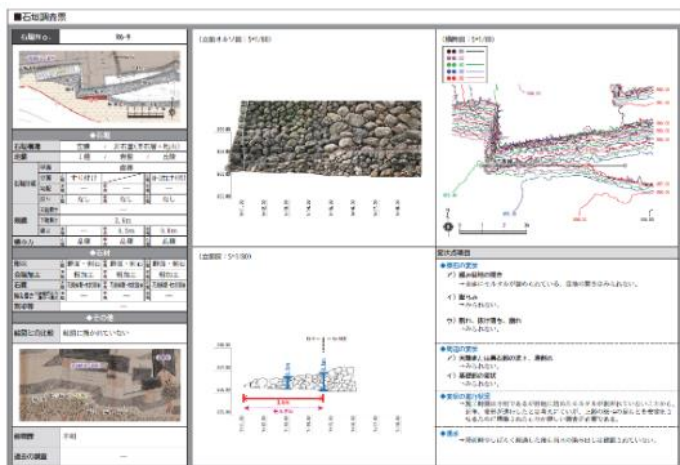
大げさに言えば、二百年前の大工さんとの知恵比べとも言えるかもしれません。



石垣の調査をしました

破損が生じている南側の石垣について、専門業者に委託して、平面・立面図などの基本図面や勾配などをまとめた「石垣カルテ」を作成しました。

この資料をもとに、今後、修理専門委員会の中で、具体的な修理範囲や工法を検討していく予定です。



〔これからの予定〕

【調査】

〓 八月…既存建具調査

平面変遷検討(台所・社務所)

【工事】

七月…屋根・小屋組解体

十一月〜十二月頃…資材保存小屋工事

※社務所の屋根から順次解体が進みます。

工事中へご参拝の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

『令和の大改修奉賛会』奉賛者一覧

敬称略(令和七年一月一日〜令和七年六月末日)

〔ア〕相原美智子、相原結衣、青木紀恵、青木秀明、赤澤美佐、明石紀子、秋富慎司、阿久津千恵子、浅井達哉、浅石梨佐、浅田良次、東剛、阿知波裕、阿部祐一、天野正憲、飴野歩、荒井明子、荒井功子、荒井義剛、荒木江利子、荒瀬昭江、安藤敏康、安藤美穂、安保麻美子、〔医〕万寿会 井海江利子、飯山優子、池田寛、生駒光博、石井久美子、石井淳一、石井美由紀、石黒幸彦・三千代、石田敏子、石のかつら 岩崎弘司、石橋あやめ、石橋貢、石原隆志・直美、石原知実、石本守、泉誠郎、磯部浩子、井谷恵子、市川忠、伊藤雄文、伊藤克真、伊藤吉世子、伊藤賢一郎、伊藤環、伊藤妃那、伊藤正和、伊藤美穂、伊藤稔、伊藤幸洋、稲垣祐哉、稲田紀子、稲福正美、稲山恵誉、井上毅彦、井上達也、猪木彩香、井之口泰幸、猪股勇人、井場鉄工(株) 井場啓之、イブキ整骨院 稲垣珠季、今井一郎、今井敏夫、井前建設(株) 井前克也、今枝圭司、今橋武志、井元最美、井元誠志、岩井義郎、岩上晶胡、岩崎成子、岩田起代子、上坂俊彰、上田泉、上田恵三、上田眞次、上田博子、上田史、上田美智江、植田悦行、植竹達也、植西静子、鶴飼秀一、鶴狩愛、牛尾俊介、氏原裕保、臼井知子、宇陀裕弘、打田幸一、打田直美、打田博子、内野晶子、宇仁淳子、宇仁美那子、宇野秀幸、鶴木時男、浦忠弘、江口幸子、FAサービス(同) 石和田真也、及川亜樹子、大江かおり、大江紀美子、大江正之、大江悠太郎、黄倉ひとみ、大崎信久、大澤照美、大澤直史、大澤壽崇、大芝一眞、大島慶之、大関健志、大関環、大関典子、大田篤、太田勝久、大田憲雄、太田尋子、大塚郁子、大塚邦昭、大林誠・裕子、大原光泰、大前梢、大向純子、大村直樹、大森辰郎、岡謙介、岡崎毅、岡田晶子、岡田友子、岡田宏美、岡野佐智子、岡野孝志、岡野孝俊、岡本香、岡本恵子、岡元直紀、岡安倫矢、小川聡子、小川潤子、翁由香里、奥口尚美、奥田一文、奥田範子、奥出てる子、奥野紀、奥村美奈子、奥山瑞己、小倉深雪、おさきの干物(株)、長内里香、長村千春、小澤貴徳、小田久美子、小田由香、小田原純江、小野勝子、小野田寛二、小畑哲代、尾畑幸子、表三佳子、お料理岸がみ 岸上哲章

〔カ〕(株)アーク 鈴木郁夫、(株)アートテン 6688 インターナショナル 高橋富男、(株)RRC 星野貴洋、(株)愛知鋼管 濱田宏弥、(株)ウテナ、(株)大盛 大盛健、(株)OfficeBright 淀澤之雄、(株)KS&K、(株)グリーンネットまほろば 山口裕己、(株)クレスコエンジニア 仲川昌寿、(株)K&Kコーポレーション 加仲康彦、(株)秀永 藤原庸晃、(株)SHINE 横山明彦、(株)伸明 藤原啓純、(株)スパラボ 中村博行、(株)住まいの創造館ネッツ・トラスト 川東正和、(株)匠工房 能瀬隆幸、(株)土屋商店 土屋治雄、(株)統建 勝田浩史、(株)トクエイ 児島徳和、(株)日勝 花谷信子、(株)ニューエスト 新西貴代美、(株)HMODE 淀澤伸之、(株)昌プロ 山口昌子、(株)明楽 木下明、(株)メディカルケア飛鳥 笠間広明、(株)森本材木店 森本啓司、柿崎真由美、柿澤匡諒、垣本博雄、角田和弘、角田隆一、梶秀人、梶浦信治、柏崎郁乃、葛山平和、加藤恵美子、加藤敏巳、加藤久貴、加藤正美、加藤実絵、加藤美穂子、金子是久、金子はな、金城多恵子、金光明美、金光理奈、上内緑生、上村茂人、上村智江、上村菜月、辛島照代、川井孝二、川井ひろみ、川上浩、川久保啓一、川下純子、佳子、川島久美、川島拓実、川東正和、川邊浩久、川見順春、神田千代子、神田晴美、菊地一仁、貴志壽夫、喜多弘美、北川和男、北川裕基、北島秀昭、北谷将之、北野貴康、北野商事(株) 北野紗弓、北村加奈、北村恒男、鬼頭咲弥、鬼頭典江、鬼頭佑弥、衣笠麻耶、木下康喜、木下留美、木全鳳成、木股昌代、来待屋 児玉まき子、木村愛美、木村優子、櫛田具子、工藤潤子、工藤寛人、工藤優希、國廣賢治、國安勇吉、久保幸司、久保さよ子、久保千晶、熊城考朗、熊野雅美、久米眞仁、桑川潤子、倉本均、栗田陽・美紀、黒木博美、黒野一弘、桑原一樹・妙子、桑本一孝・照美、小池貢弥、香西昭吾、幸田良知、河野久美子、高野高治、越田秀俊、後藤孝正、小西一二三、小林悦子、小林英津子、小林幸子、小林早由里、小林裕利、駒形恵子、小宮山啓子、小森智子、小山栄子、小山泰敏・正代、近藤妙子、近藤哲矢、近藤文哉、近藤守弘、紺野由紀

〔サ〕佐居晃行、西藤章子、齋藤久美、坂千里、坂憲康、酒井智貴、坂倉史麻、佐久田涼子、櫻井邦男、迫田一弥、笹井昭雄、笹森光、佐藤涉、佐藤健作、佐藤修一、佐藤琢、佐藤弘信、佐藤正之、佐藤幹夫、佐藤良江、真田幸代、佐野弘騎、佐原元恵、澤井徳治、重田清治・紀子、重田友巳、篠原英雄、四宮慶太郎、柴田大介、柴田由紀子、柴山一郎、柴山侑佑夏、島津敏博、嶋津真由己、清水明、清水元、清水学、清水麻耶、清水康彦、清水祐子、下地秀実、下村朝規、下村由姫、庄司憲広、庄司裕美、白濱広美、新神戸歯科 藤井佳朗、新谷恵美、新谷秀司、眞銅秀実、新橋裕美子、末田喜代美、須賀俊一、菅谷愛、杉浦幸、杉浦美和、杉原巧俊、杉本早知江、杉本信

三、杉本宜史、杉本真由美、直田圭史、鈴木あみ、鈴木郁子、鈴木一弘、鈴木和雅、鈴木繁樹、鈴木たゑ子、鈴木知恵子、鈴木みちる、鈴木光男、鈴木康広、鈴木泰宏、鈴木優美香、鈴木良穂、須田昌弘、砂田浩光、砂田麻千子、関口初恵、瀬崎千晶、撰津奈美子、瀬戸口香代、惣田裕美、染谷めぐみ、征矢元良、曾山文子

〔夕〕大工園正朗、大達建業(株) 大川達也、田岡富雄、高井恒之、高木寿、高桑徹司、高嶋晋一郎、高島仁美、高田萌恵美、高次郁、高永周寛、高野厚子、高野彩子、高橋一馬、高橋敬子、高橋健一・みえる、高橋伸子・美弥、高橋混文、高橋史江、高橋正俊、高橋昌弘、高橋由美、高橋義弘、高橋れい子、高山百合、瀧美緒子、瀧川嘉彦、瀧本修、瀧本由喜子、田口好樹、竹内昇大、武田勝伸、武田晴子、武田護、竹田美樹、竹綱庸仁、竹之内剛、竹之内奈々恵、竹原昌平、竹原依子、竹藤光樹・美枝子、竹村京子、田島重光、立花湯香、辰己功、巽泰之、伊達正起、田所孝子、田中克子、田中久美子、田中謙吉、田中浩二、田中誠、田中光枝、田中美和子、田中恵、田中裕子、田中由加里、田中由紀、田中有美子、田邊善子、谷川葉子、谷口明美、谷口実和子、谷崎太陽・佳代子、谷澤文崇、多辺田秀隆、玉置久人、玉置和夫、玉置勝典、玉置久美子、玉置宏太郎、玉置典子、玉置正澄、玉置充弘、玉置幸郎、玉置よし江、田村尚子、丹野拓也、通善一洋、塚本由佳、津河智実、佃明美、九十九澤涼子、辻喜代子、辻眞須美、辻岡雅基、辻田貞子、辻野賀典、津島君英、津田信吾、土田浩司、土屋仁、都築博隆、堤繁一、津禰鹿裕晃、壺谷泰久・早苗、出口昌代、寺澤明敏、寺田武司、寺村和昭、峠貴資男、東郷浩司、當間麻美子、遠山清八、渡嘉敷慶子、土岐とも子、泊富士子、友田愛

〔ナ〕内藤さおり、内藤陽子、仲麻美、仲芳弘、中井久美代、中井俊之、中内秀喜、中尾朱良、中尾一隆・真喜子、中尾健太郎、中尾史子、中尾幹子、中尾優生、長尾由美、中門俊一、仲川直子、中川久恵、長崎良成、中澤正明、中田邦良、永田恵子、永田雅裕、永田由美子、中田陽子、中田龍太郎、仲谷和彦、仲谷直子、中谷奈津子、仲谷光弘、MAGATAINT 永田正人、中津川直子、永沼仁美、中野枝里香、中野智文、中野優子、中畑美紀、中村章宏、中村恵子、中村健一、中村幸子、中村慎吾、中村七夏、中村みずほ、中村実、中村有紀子、中本美苗、中森康之、中山倫子、梨羽道明、那須野健一、名藤絵莉奈、成田瀧英、西知美、西垣竜一、西川貴美、西久保佐友里、西久保仁美、西込浩昌、西出隆男、西原明美、西村訓宏、西村大輔、西村宇弘、西村智裕、西村師子、楡本忠則、沼谷勝之、根岸伸太郎、野上建設(株) 野上大介、野口澄江、野口卓志、野口忠行、野路さとみ、野副貴夫、野中経子、野村直佑、野呂茂・久子、野呂みゆき

〔ハ〕芳賀典子、萩野俊平、萩原伊紀子、萩原謙一、萩原恵子、橋詰啓子、橋本愛、橋本敦、橋本武司、橋本康宣、羽瀬秀子、長谷博友、畑貞夫、秦武史、畠山真理子、畑中豊司、畑中行栄、花岡節夫、花田章子、濱本敏成、濱本ひとみ、濱本誠、濱本将成、早川恭弘、林方子、原栄希、原理恵、針原成吉、馬場常美、香場智之、日賀井瑛太、東直宙、東久夫、東嶋法男、東瀬戸千鶴子、東辻成夫、樋口勲、樋口浩平、樋口幸江、亀元佳苗、毘沙門院、毘沙門院一同、飛田照美、樋高蘭子、美容室コア小林典子、平口華蓮、平口麻里絵、平田美佐、広井和正、広井紀子、廣瀬範男、廣田はつ江、廣田稔、TOSATO 伊藤広二、福井文代、福井芳子、福島君房、福森崇文、藤井和子、藤井多賀子、藤井洋美、藤井洋子、藤川恵里、藤澤和、藤沢千史、藤澤瑠美、藤島章、藤田明彦・亜希子、藤田彩花、藤田健二・美智子、藤田高充・淑子、藤田菜穂子、藤田悠花、藤本恵梨、富士本和夫、藤森大治、舟橋圭、古市菊雄、古川由子、古澤善江、古田絢子、古田由紀、古田涼子、古橋昌子、別田学・信子、遍照尊院、細江一之、細川義登、細見裕子、堀田江利、堀田久美子、堀知子、堀井幸子、堀池千草、堀内幸治、堀内とり、堀江友博、堀川友香莉、堀越裕文、本田栄、本田勉

〔マ〕前川真二郎、前川千景、前杉佳紀、前田章子、前田恵美、楳桂子、正木久子、増田雅義、増本晃一、松浦弘、松尾昱代、松岡順治、松岡真澄、松木平竜也、松木平茉珠、松木平真由美、松木平観月、松木平康、松澤孝幸、松田順子、松田貴志、松田由紀恵、松永美和、松根和彦、松根弘子、松原克羅、松原啓太、松村博志、松村好幸、松本綾子、松本健一、松本健介、松本剛一・貴子、松本幸子、松本貴子、松本友美、松本尚史、松本直行、松本春奈、松本三幸、松谷陽子、マルシェ順子、丸谷茂安、満願寺分院 前田峯成、三方国雄、三木稔、三木由子、三嶋昭彦、三島美幸、三須健太郎、水越正、水嶋啓一、水谷弘、水野高德、水野陽子、ミズモト運送(株) 水本有彦、見谷栄子、見谷孝治、道岡俊浩、道岡由菜、道岡佳美、道見彩子、三井誠、光田画美子、光野衛、三戸忠幸、南武司、源準一、源仁志、美馬喜美子、宮岡佳雅人、宮岡真太郎、宮崎修一、宮田豊、宮谷雄治、宮西多麻子、宮村宗希、宮本かおり、宮本泰行、名井三貴、向田司、宗方心香、宗方宏明・友香、村枝恭二、村尾勝彦、村上希伊子、村上智子、村上隼人、村上秀明、村越美奈、村田訓代、村田満子、村本英樹、村山暁、村山明美、村山健太郎、目良博行、元林謙治、本村宏子、森和範、森佐和子、森大典、守内幸子、森川規江、森下典子、森田茂樹、森谷肇、森地久治、森地由美子、森中久美、森長完志、森藤養子、守部千枝、森本いづみ、森本佳子、森本浩二、森本良輔、森本航、守屋知正、守屋眞理

〔ヤ〕矢口大樹、安井友映・浩子、安枝三恵、安長知夏、柳井優彦、柳橋良一、山内

清、山内美紀、山口亮、山口貴裕・佳代、山口優香、山崎あけみ、山崎和宏、山崎清弘、山崎春吉、山田早人、山中健太郎、山中久史、山中浩義、山西一善、山西善信、山本恵津子、山本蘭、山本勝美、山本サヨリ、山本信吉、山本信二、山本健、山本英之、山本昌弘、山本裕子、山元由美、山本夕理恵、山本英章、(有)池田ビル、(有)大崎組 大崎剛、(有)奥野瓦工業 奥野新、(有)学造舎 菊池学、(有)現代健康研究所 高橋富男、(有)THEQUEENS 福田治、(有)佐野工業所 佐野治子、(有)輝総合保険事務所、(有)ホームアート 木村剛、(有)ワーク 岩崎栄作、由井裕之、柚本眞由貴、湯川佳代子、湯川順子、湯川典幸、横川智子、横田明久、横山洋一、吉岡克美、吉川晋吾・晃児、吉崎達也、吉崎眞由美、吉田清美、吉田理、吉田晋、吉田貴美、吉田みぎわ、吉谷浩人、芳野眞貴子、吉村明子、吉村眞貴子、吉本武正、吉山秋代、吉山妙子、米井裕司、米原祥雅

〔ラ〕 李榮喜、隆喜工業 坂本隆

〔リ〕 若林弘泰、脇田友晶・実穂、和田安生、渡邊誉也、渡邊寛、渡邊通安、渡辺陽子

一般奉賛者一覧

敬称略(令和七年一月一日〜令和七年六月末日)

〔ア〕 穂本智栄子、阿久津晴夫、浅田勝司、東寿子、吾妻由隆、東喜則、荒井克巳、荒木義喜、有村友貴、栗野祐子、飯岡隆夫、石井亜季、石川哲規、石川満帆、石川資浩、石のかつら、岩崎弘司、石橋征司、市山文子、伊藤春朝、犬本智洋、井上板金井上征明、今井才三、岩本裕史、岩元正樹、植田恵子、魚谷直毅、氏家珠実、牛尾俊介、宇田英記、浦島観光ホテル(株) 山水館川湯みどりや 廣崎友久、江崎三基、江藤宏、NKGインフォテック(株) 中垣浩一、榎光久、ゑびす荘 玉置晋也、Yoshio(株) 溝口慎太郎、遠藤好彦、大内静代、大久保崇雄、大越大助、大澤啓徳、大澤眞之亮、大澤毅、太田久美子、大高眞澄会 黒石珠水、大谷幸子、大冢章子、大橋正嗣、大村恵美子、岡保、岡崎宗子、小笠原幸子、沖周治、奥岩大、奥村恭子、奥村正晃、尾崎静代、音成神社、尾中修、小原和幸

〔カ〕 株アドバンス 平井宏治、(株)エムシー富士 松井英樹、(株)岡田組 岡田喜久男、(株)オフィス NANAMITHEGOODMOOD 村田奈々美、(株)クリスロン 高山元嘉、

(株)ケイ・ツィネットワーク 栗野兼信、(株)三共 上垣建二、(株)鈴工 牛場正人、(株)セリオス 須崎保、(株)中和コンストラクション、(株)ユーエスト 新西貴代美、(株)野嶋石材 野嶋正之、(株)PRAY 石塚克也、(株)Hebeebaden、(株)和昇 遠藤和尊、抱祥一郎、梶川光澄、榎田充弘、榎谷幸一、榎原龍男、兼子弥子、金山博行、狩野英己、紙上和子、柄澤幸子、假家英明、川合祥文、川崎久男、川嶋正起、神田千代子、木田タズ子、北國英一、城戸勇、衣川徳香、岐阜スプリング(株) 林眞理子、木村知子、協立産業(株)、清田克彦、日下千鶴、楠尚樹、工藤和浩、国見不動(同) 上本浩司、國吉利弘、窪添正昭、久保田康裕、久間美智代、黒田将由、古賀博英、小熊芳訓、小坂篤司、古都音(株) 福田彩乃、小西康夫、小林利幸、コバルト、今千尋、近藤順子

〔サ〕 齋藤和子、榊原タカ子、坂下清和、坂元一成、佐久間友紀子、桜井久美子、桜井直子、櫻岡正伸、櫻木修一、佐古金一、佐々木瑛愛、佐藤翔、佐藤雄喜、佐野宏之、澤成典、澤洋子、澤野和隆、山東美晴、椎原雅美、塩見直也、待留光宏、柴沢晃、柴田由紀子、島田信洋、嶋中信一、清水香葉、清水昌樹、冷水充、清水由美、周直民、穂本興業(株)、昇栄電機工業、須川輝一、頭師正美、鈴木美枝子、鈴木通子、鈴木満、須藤美子、青岸渡寺熊野修験、瀬川孝子

〔タ〕 高治美和、高瀬恵子、高田盟子、滝口洋子、竹田しづ乃、竹林生栄、田島亜希子、田島重光、田中常一郎、田中秀樹、田中優成、田中恵宮、田中佑典、田鍋敦子、谷口章子、田花館 田花敏郎、玉置郁雄、玉置俤生、玉置久稔、玉置秀男、玉置正勝、玉置幸郎、玉置陽子、玉置よし江、玉置の世界遺産を守る会 原秀雄、玉野晶子、田和文雄、知念光博、(株)千代システム 高治輝幸、辻野治男、辻村啓之、土田満穂、土谷英樹、土屋直明、坪内久恵、寺崎美徳、寺嶋孝、天台寺門宗、東和奉産(株)、十津川村観光協会、十津川村森林組合、十津川村ホテル旅館組合、富宅高華子、豊島あき子

〔チ〕 中精一、中隆村、仲正人、中昌永、永井勝美、永井聖菜、中井知江子、永井輝彦、中井基雄、中川博之、長島さやか、中島典子、長田泰子、長竹正泰、中西裕子、中埜武治、中野陽子、中原康範、中村喜代治、中村重夫、奈良交通十津川営業所、鳴戸博基、新倉和子、仁坂澄子、西浦壽一、西尾矩範、西尾陽子、西川清、瀬郵便局 東眞民、念法眞教金剛寺、念法眞教総本山金剛寺 桶屋良祐、野上建設(株) 野上大介、野村正明

〔フ〕 萩原伊紀子、長谷古憲、秦美智子、初井政澄、花島淳一、濱中宏介、早川幸子、早川恭弘、林利貞、林真知子、林眞弓、原田昭子、原田良雄、ピースフルピープル 中絹代、日浦建設 後木光雅、東勉、氷川千津、彦坂昌樹、比佐利勝、飛弾誠、平野明子、平野美千恵、広実常久、廣瀬敦彦、深見美香、深谷真由美、福井博美、福留淑美、藤井初枝、藤澤豊、富士食品(株) 山田鉄、藤本宏、藤原浩樹、古田友和、Tom0287 平山高

之、法徳堂 山本陽子、朴澤大輔、星野耕平、堀隆、本多勝彦、本部真吾、本部めぐみ、本間兼一、本間ナヲエ、本間睦彦

〔マ〕前田一紀、前田正伸、増島香澄、松井雅代、松井理紀、松實辰美、松村哲、松本利幸、松本美代子、丸山昌三、南方裕美、南方美紀、峯廻寛、三橋鉄雄、宮司育代、宮司貴広、宮本千鶴子、宮本輝紀、宮本徳子、ムーヴファクトリー 植田幸江、村田和正、村田充男、村田佳子、森多美子、森尚子、森正美、森雄三、森崎隆夫、森下みさほ、森地正治

〔ヤ〕山口純代、山口昌人、山崎耕一、山田祥、山中富士夫、山本一隆、山本和則、山本茂、山本武弘、(有)信光 大内誠弘、(有)チエンソーアート・ジャパン 城所啓二・栄子、(有)中谷工務店 中谷益彦、(有)ファーストブルー 荒澤佑侍、(有)マックス 丸山通、(有)松本運送 松本清、(有)ワーク 岩崎栄作、横田寧、吉岡克美、吉川令子、吉田敬、米澤浩、依藤寛

〔ウ〕鷲尾隆元

現場公開見学会のご案内

改修工事中の社務所内

奈良県では、玉置神社様より委託を受け、令和三年六月より重要文化財「玉置神社社務所および台所」の修理事業を行っております。本事業では、建具に施された彩色の剥落止めや、内部の造作材の解体などを進めており、昨年十二月には建物の解体および組立を行うための全天候型足場（素屋根）が完成しました。また、今年七月中旬より銅板屋根の解体作業を開始する予定です。

つきましては、文化財建造物の修理とはどのようなものかを広く知っていただくため、**九月二十六日・二十七日に修理現場の公開**を行うこととなりました。参加費は無料です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

社務日誌より

令和七年

- 一・一 歳旦祭
- 一・一六 会計監査
- 一・二八 古神符焚上祭
- 二・二 大日堂転換祭
- 二・一七 祈年祭
- 二・二六 大日堂神柱竣工奉告祭
(丸田責任役員、森林組合長、(株)和昇代表取締役、中昌永氏参列)

三・二 三柱神社初午祭
(約百五十人参列)

三・二十 出雲大社教玉置教会祖霊祭
三・二四 神輿殿竣工奉告祭
(責任役員、(株)和昇代表取締役、井上板金社長、窪添設計士、(株)三共代表上垣氏、須川氏参列)

三・三十 責任役員会
(新年度予算案の決定)

四・三 若宮社・神社社例祭
四・一四 現代健康研究所高橋様一行
六人正式参拝

四・一六 会計監査 決算報告

四・一九 青岸渡寺 熊野修験参拝
(約七十人)

五・六 白山社例祭

五・十三 玉石社例祭(約二十人参列)

五・十四 出雲大社教玉置教会例祭
会計監査

五・二十 真名井社例祭

五・二七 片岡八郎公顕彰祭
(顕彰会会長他十人参列)

六・一 氏子総代会(決算報告)

六・八 聖護院門跡報本謝徳参列
(丸田、宮村、玉置責任役員)

六・十二 十津川第一・第二小学校
村内めぐり来社
(三年生児童十九人他)

六・二十 毘沙門院一行御祈禱
(四十五人参拝)

六・二一 茅の輪設置

六・三十 夏越の大祓
(約八十人参列)

七・十九 瀬峡地域活性化協議会
川伏神事(現地於)

七・二三 新十津川町中学生来社
(中学一年生十三人他)

※編集の都合により、七月末までとさせていただきます。

編集後記

降雨が早朝にさつと上がり、青空に包まれる天候に遭遇することがあります。この時は、この上ない幸福感到に包まれることとなります。普段でも清しい大気が、それこそより透き通り、清く澄んだ環境に恵まれるのです。最も重く実感するのは新緑の時期です。なぜなら、若葉が伸びた神々しい緑とターコイズ(トルコ石)のような青空、それを紡ぐ美味しい空気のコラボレーションは、天国の、それこそ神様の御座す所に囲まれた崇高な高揚感をたっぷり味わえるからです。特に、青空と緑の山々の境界線には、その美しさに心が奪われてしまいます。

ひっそりと紀伊山地に佇む玉置神社にご奉仕させていただき、この有り難き体験は、独り占めをしているような感覚になり、皆様に申し訳ありませんという気持ちにもなります。

その度に、「この環境を護る」ことに専念することの重要さを噛み締める小生です。



